


STEP 1 4. 日付の表示を変更する

1. 西暦の表示を「1956年1月1日」に変更しましょう

1 セル「B2」を選択します。

2 「数値」の「」をクリックします。

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		1956/1/1					
3		S31.3.3					
4		1990/5/5					
5		R4.7.7					
6							

3 種類の「*2012年3月14日」をクリックします。

「2012年3月14日」を選択してもかまいません。

4 「OK」をクリックします。

セルの書式設定

表示形式 配置 フォント 罫線 塗りつぶし 保護

分類(C):

- 標準
- 数値
- 通貨
- 会計
- 日付
- 時刻
- パーセンテージ
- 分数
- 指数
- 文字列
- その他
- ユーザー定義

サンプル

1956年1月1日

種類(I):

- *2012/3/14
- *2012年3月14日
- 2012-03-14
- 2012年3月14日
- 2012年3月
- 3月14日
- 2012/3/14

ロケール (国または地域)(L):

日本語

カレンダーの種類(A):

グレゴリオ暦

[日付] は、日付/時刻のシリアル値を日付形式で表示します。アスタリスク (*) で始まる日付形式は、オペレーティング システムで指定する地域の日付/時刻の設定に応じて変わります。アスタリスクのない形式は、オペレーティング システムの設定が変わってもそのままです。


OK キャンセル

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2		1956年1月1日							
3		S31.3.3							
4		1990/5/5							
5		R4.7.7							
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									

日付の表示が変わりました。

2. 和暦の表示を「昭和 31 年 3 月 3 日」に変更しましょう

1 セル「B3」を選択します。

2 「数値」の  をクリックします。

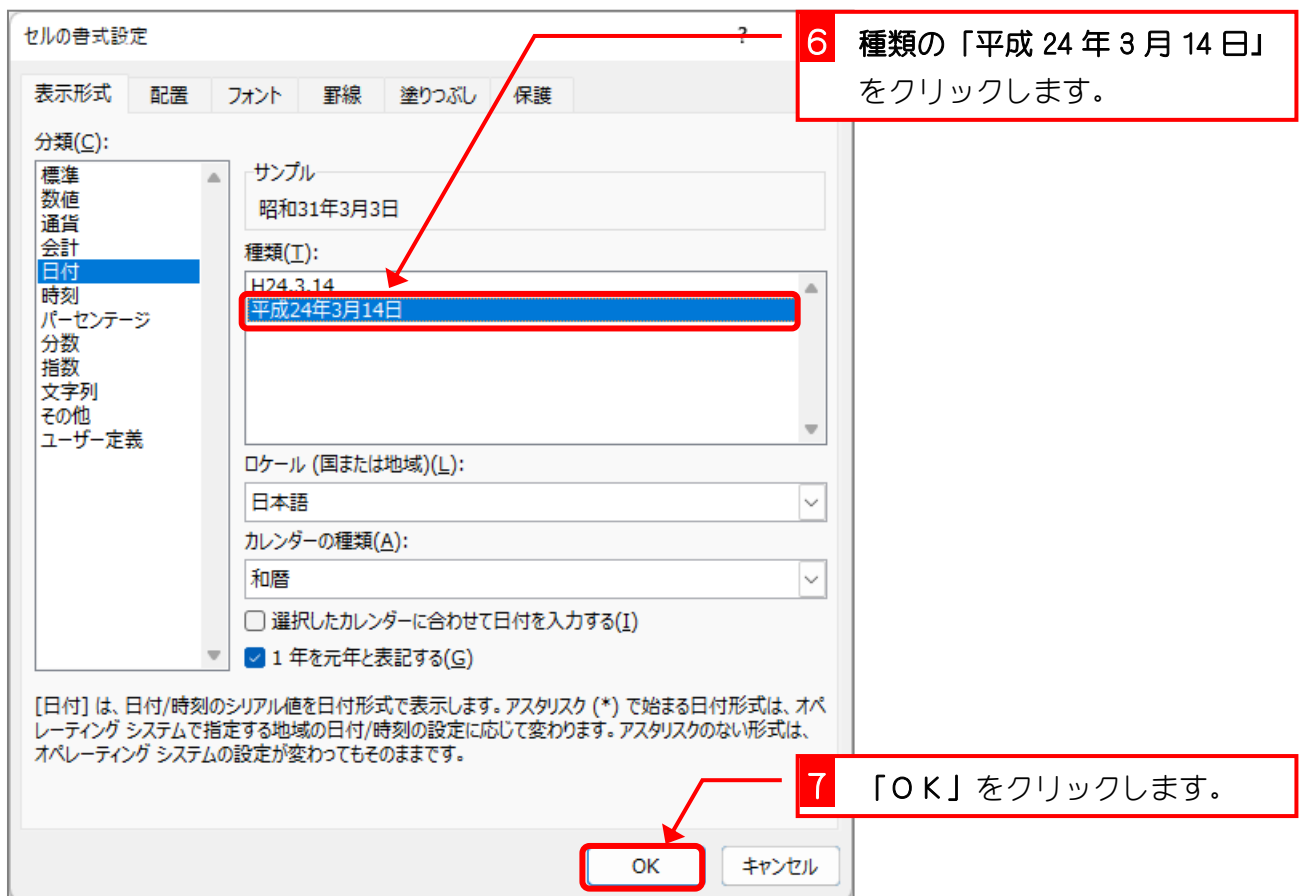
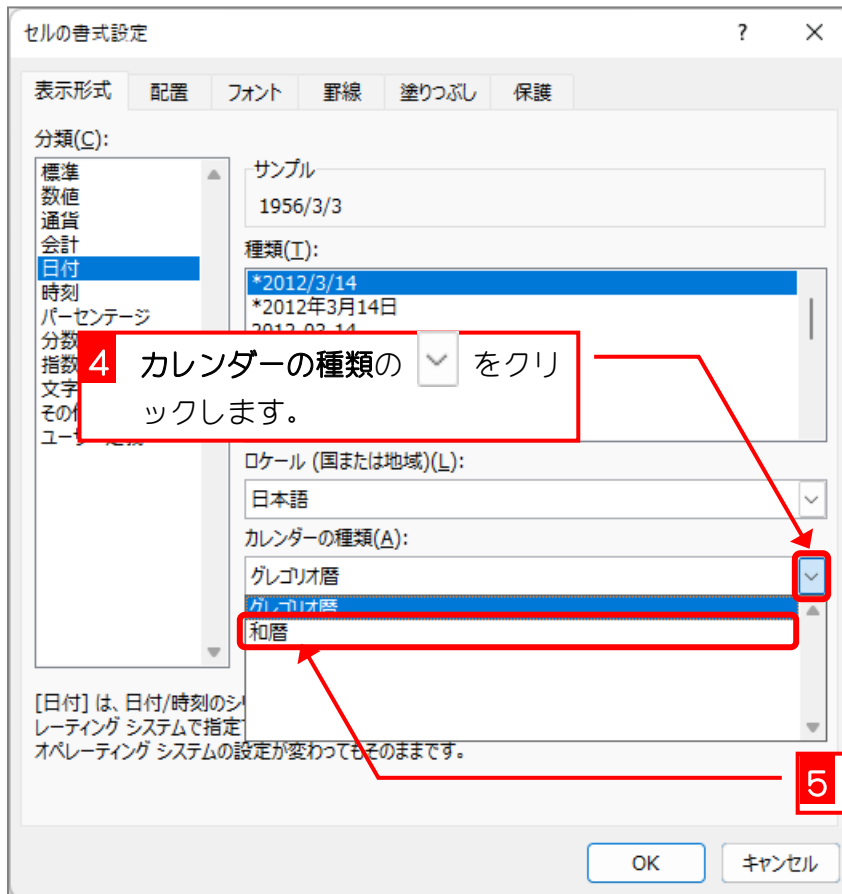
3 分類の「日付」をクリックします。

	A	B	C	D	E	F
1						
2		1956年1月1日				
3		S31.3.3				
4		1990/5/5				
5		R4.7.7				
6						
7						

3 分類の「日付」をクリックします。

基になる組み込みの表示形式を選択し、新しい表示形式を入力してください。

OK キャンセル



	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		1956年1月1日						
3		昭和31年3月3日						
4		1990/5/5						
5		R4.7.7						
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								

日付の表示
が変わりま
した。

練習問題

図のようにセル「B4」～「B5」の日付の表示形式しましょう。

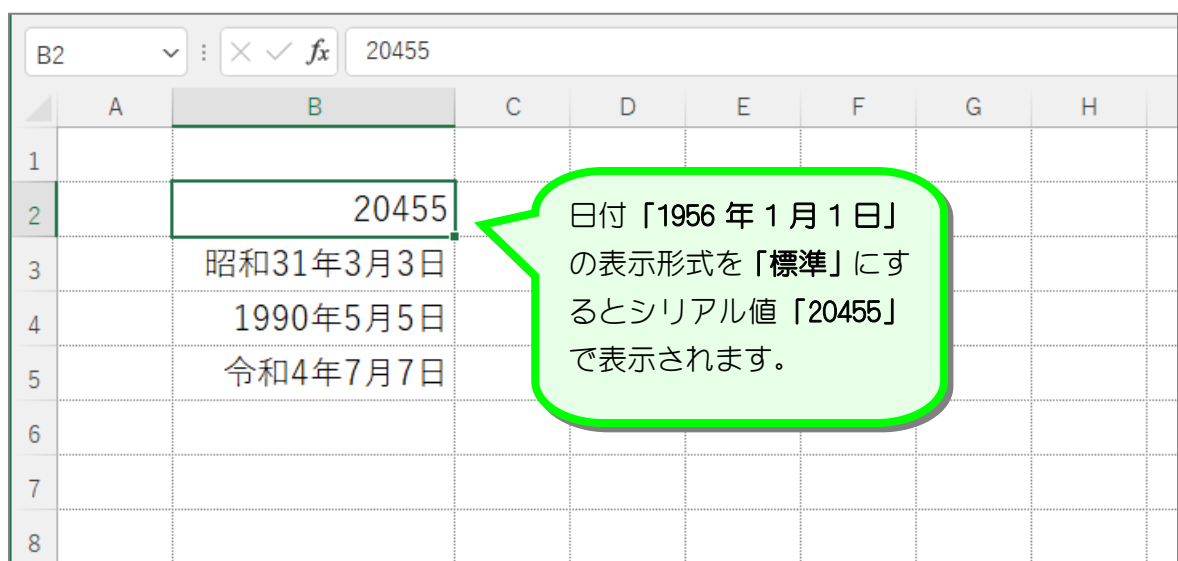
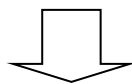
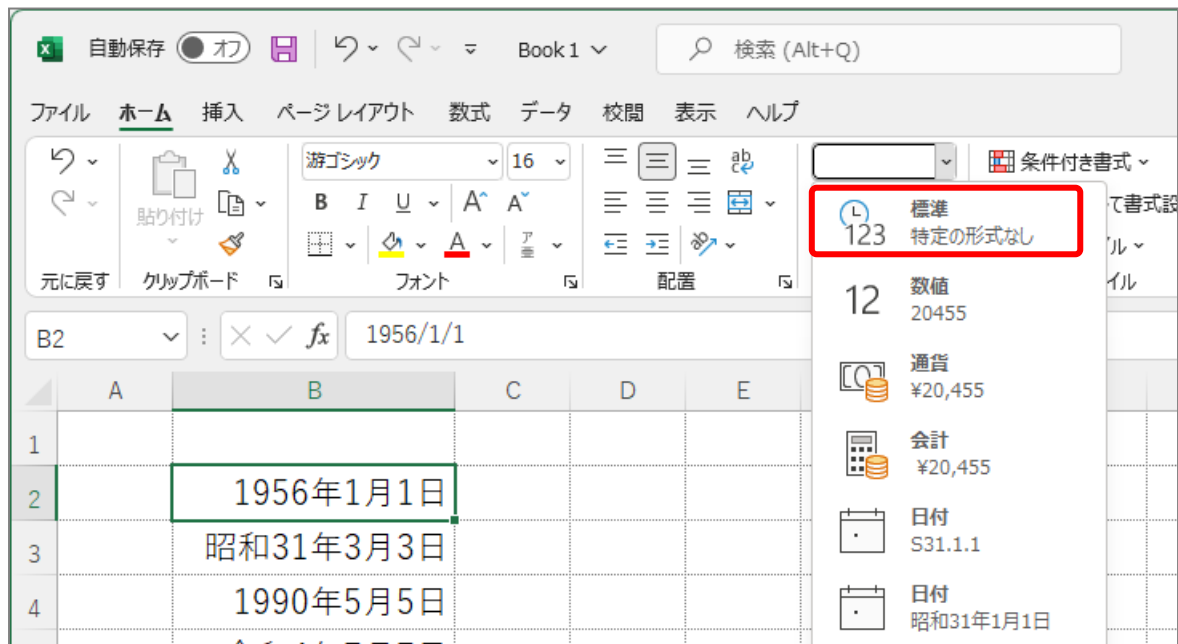
	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		1956年1月1日						
3		昭和31年3月3日						
4		1990年5月5日						
5		令和4年7月7日						
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								

参考 日付のシリアル値

エクセルは日付の値をもとに様々な計算をすることができますが、その計算をするために日付のデータを『1900年1月1日の0時を「1」とする連続の数値（シリアル値）』で認識しています。

例えば「1956年1月1日」はエクセルの中ではシリアル値「20455」として処理されています。これは1900年1月1日から数えて20455日目ということですね。

日付のデータの表示形式を「標準」にすると日付の形式から数値に変わりますが、これがシリアル値です。



表示形式を変更した場合は、元の表示形式に戻してください。

STEP 15. 時刻を入力する

1. セル「B2」に 8 時 30 分 40 秒を入力しましょう

1 新しいシートを追加して、シートのフォントサイズを「16」にします。

2 セル「B2」に「8:30:40」と入力します。

時刻を入力するには
 8:30:40
 8時30分40秒
 と入力する方法があります。
 秒を省略する場合は
 8:30
 8時30分
 と入力します。

練習問題

図のようにセル「B3」～「B5」に時刻を入力しましょう。


	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2		8:30:40							
3		19:50							
4		10:25:30							
5		22:15							
6									
7									
8									
9									
10									
11									

19:50 19時50分
 10:25:30 10時25分30秒
 22:15 22時15分

STEP 16. 時刻の表示を変更する

1. 時刻の表示を「8時30分40秒」に変更しましょう

1 セル「B2」を選択します。

2 「数値」の  をクリックします。

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		8:30:40					
3		19:50					
4		10:25:30					
5		22:15					
6							
7							

3 分類の「時刻」をクリックします。

セルの書式設定

表示形式 配置 フォント 罫線 塗りつぶし 保護

分類(C):

- 標準
- 数値
- 通貨
- 会計
- 日付
- 時刻**
- パーセンテージ
- 分数
- 指数
- 文字列
- その他
- ユーザー定義

サンプル

8:30:40

種類(I):

- h:mm:ss
- d-mmm-yy
- d-mmm
- mmm-yy
- h:mm AM/PM
- h:mm:ss AM/PM
- h:mm
- h:mm:ss**
- h"時"mm"分"
- h"時"mm"分"ss"秒"
- yyyy/m/d h:mm
- mm:ss
- mm:ss.0

削除(D)

基になる組み込みの表示形式を選択し、新しい表示形式を入力してください。

OK キャンセル

セルの書式設定

表示形式 配置 フォント 罫線 塗りつぶし 保護

分類(C):

- 標準
- 数値
- 通貨
- 会計
- 日付
- 時刻**
- パーセンテージ
- 分数
- 指数
- 文字列
- その他
- ユーザー定義

サンプル
8時30分40秒

種類(I):

- 1:30 PM
- 13:30:55
- 1:30:55 PM
- 2012/3/14 1:30 PM
- 2012/3/14 13:30
- 13時30分
- 13時30分55秒**

ロケール (国または地域)(L):
日本語

[時刻] は、日付/時刻のシリアル値を時刻形式で表示します。アスタリスク (*) で始まる時刻形式は、オペレーティング システムで指定する地域の日付/時刻の設定に応じて変わります。アスタリスクのない形式は、オペレーティング システムの設定が変わってもそのままです。

4 種類の「13 時 30 分 55 秒」をクリックします。

5 「OK」をクリックします。

OK キャンセル

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2		8時30分40秒							
3		19:50							
4		10:25:30							
5		22:15							
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									

時刻の表示が変わりました。

練習問題

図のようにセル「B3」～「B5」の時刻の表示を変更しましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2		8時30分40秒							
3		19時50分00秒							
4		10時25分30秒							
5		22時15分00秒							
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									